

CERESPO

CORPORATE REPORT

2015

<http://www.cerespo.co.jp/>

株式会社セレスポ CERESPO CO.,LTD.

〒170-0004 東京都豊島区北大塚1-21-5 TEL:03(5974)1111/FAX:03(5394)7651



- 01 プロローグ
- 03 セレスポの軌跡
- 05 トップコミットメント
- 07 セレスポの事業
 - ・スポーツ部門
 - ・セールスプロモーション部門
 - ・フェスティバル部門
 - ・セレモニー部門
 - ・コンベンション部門
 - ・レクリエーション部門
- 13 特集
- 15 セレスポの人材創造
- 17 セレスポと社会
- 19 決算ハイライト
- 21 会社情報

セレスポの目指す姿 イベント・ソリューション・パートナー

01

CERESPO CORPORATE REPORT 2015

お客さまに寄り添い、課題を共有し、解決に向けて全力で取り組みます。
人の心に働きかけ、人の心に響き、人の心が動く。
そんなイベントを多く仕掛けていく、
手掛けていくことを目指しています。

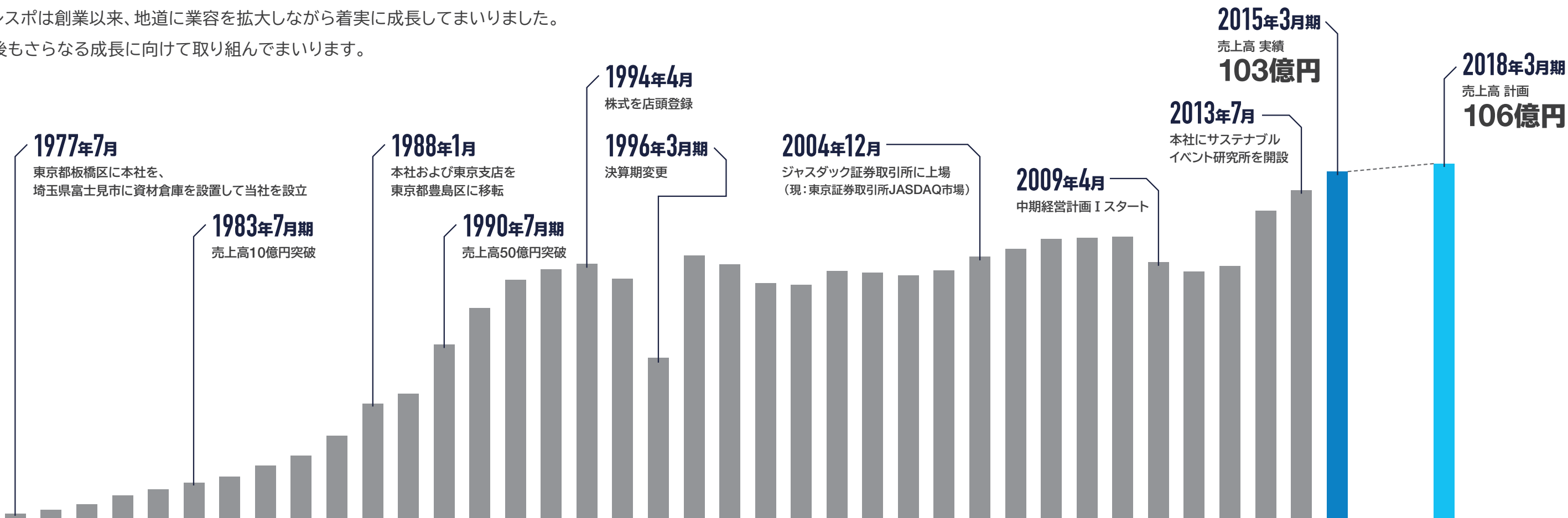


02

CERESPO CORPORATE REPORT 2015



セレスポは創業以来、地道に業容を拡大しながら着実に成長してまいりました。
 今後もさらなる成長に向けて取り組んでまいります。



私たちの仕事は、 特別な日を創る事です

2008年

2008年

2009年

2011年

2011年

2013年

2013年

2015年



北京オリンピック
ハンドボールアジア予選



第59回全国植樹祭
(秋田県)



運動会.comを開設



2011世界トライアスロン
シリーズ横浜大会



おいでませ!
山口国体・山口大会



陸上部設立



サステナブルイベント研究所
を設立



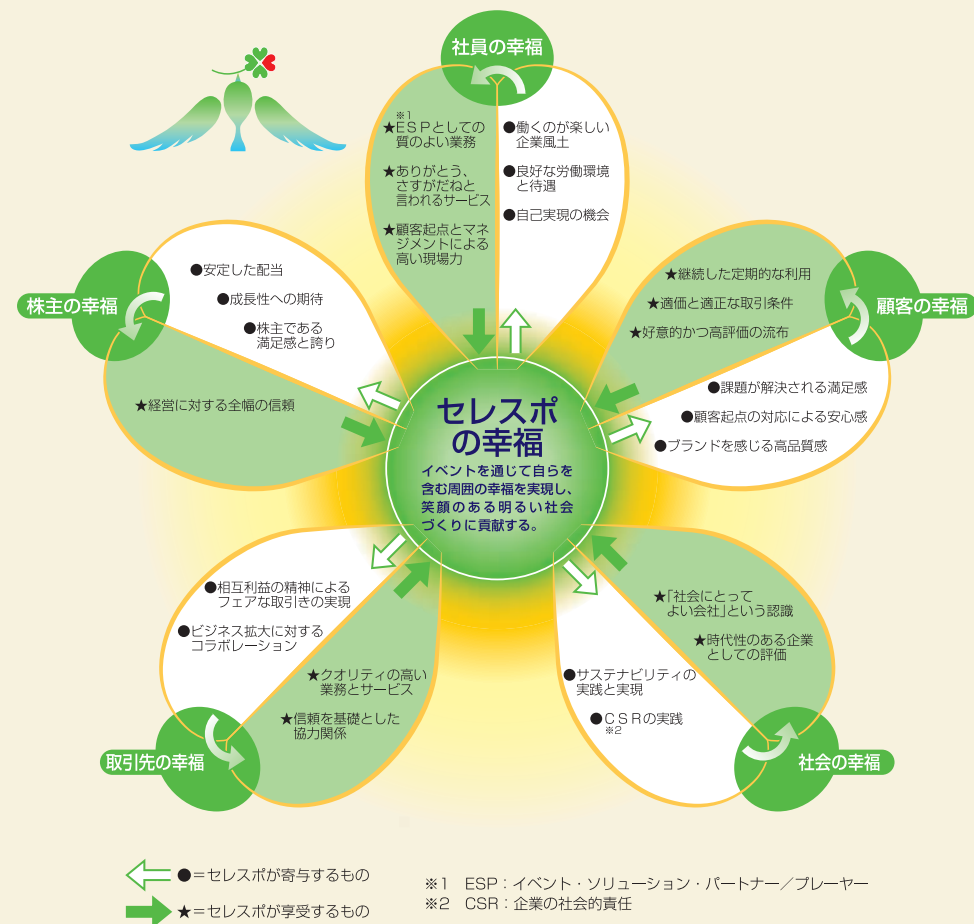
横浜マラソン2015



経営理念 「セレスポの幸福」のもと 揺るぎなき 継続企業を目指します

代表取締役社長 稲葉 利彦

【略歴】
 1976年 慶應義塾大学 経済学部卒業
 1976年 株式会社伊勢丹 入社
 2000年 婦人服飾雑貨部 商品担当部長
 2001年 天津伊勢丹有限公司 総経理 就任
 2004年 天津日本人会 会長
 2007年 株式会社伊勢丹 退社
 株式会社セレスポ 入社
 2008年 株式会社セレスポ 代表取締役社長 就任
 2012年 (一社)日本イベント産業振興協会 理事
 2013年 (一社)日本経済団体連合会
 オリンピック・パラリンピック等推進委員会 委員



全社員との対話により生まれた経営理念

セレスポは1977年の創業以来、イベントの裏方に徹する、という考えのもと、お客さまに提供する業務の質に重点をおいて事業を行ってきました。創業から30年が経ち、セレスポの社会的な責任が大きくなってきたことで、より社会との交流を考慮した新たな経営理念の策定が必要となりました。そこで私は、2007年から2008年にかけて、これからの会社の方向性について、全社員と対話を重ね新しい経営理念を作成しました。目の前の業務をこなすだけでなく、イベントを通じて周囲のさまざまなステークホルダーの幸福を実現し、そしてこの「幸福の輪」の好循環によって自らも幸福を享受する—これが2008年に策定した経営理念「セレスポの幸福」です。

「イベント・ソリューション・パートナー」を目指して

この「セレスポの幸福」という経営理念を年度計画にまで落とし込むため、3年ごとの中期経営計画を策定しています。最初の中期経営計画はリーマンショックの影響が色濃く残っていた2010年3月期に開始し、市場環境が悪化するなか、企業体質の改善に取り組んできました。

中期経営計画Ⅱ（2013年3月期～2015年3月期）では、

この体質を改善するため、「イベント・ソリューション・パートナー」というセレスポの目指す姿を想定しました。“顧客起点”という考え方のもと、企画の早い段階から関わり、ともに課題を解決していくことでお客さまからの信頼を獲得する、この「イベント・ソリューション・パートナー」の浸透が進んだことにより、受注率が上がり、大型案件も受注できるようになりました。この中期経営計画Ⅱの3年間で売上高は約3割増加し、2015年3月期の売上高は103億円まで拡大しています。

中期経営計画Ⅲでの取り組み

中期経営計画Ⅱにおける急成長と業容の変化に伴い人や組織にアンバランスが生じた部分があります。これから待ち受けている機会に真正面から向き合い、最大限享受していくにはバランスを整える必要があります。

そこで、2015年4月からスタートした中期経営計画Ⅲ（2016年3月期～2018年3月期）では、これまで拡大した業容を見直し、6年後・9年後を見据えて基盤を整備する時期と位置づけました。

中期経営計画Ⅲでは、基本方針として、「さらなるイベント・ソリューション・パートナーへ」「揺るぎなき継続企業へ」

「顧客起点を実践する現場力の高い企業へ」の3つを掲げ、それを実現すべく、組織体制の強化を図っていきます。具体的には、抜本的な組織改正、業務構造改革、要員数のリバランスなど業務処理能力の向上のための施策です。

一方、成長を促進する次の施策にも取り組んでいます。具体的には、営業力強化の1つとして、スポーツ事業開発室を新設し、複数部署に分かれていたノウハウを集めました。これにより、さらなる取引の拡大、新規スポーツ/イベント分野への参入を図ります。

また、さらに成長を促進する戦略事業として、他企業とのコラボレーションによるコンテンツ開発などに取り組んでいます。今後、このような新しい事業を基幹事業に移行していくことを目指します。

スポーツ気運の高まりについて

ここ数年、ツーリズムや地域活性化などの分野でスポーツが取り上げられており、日本中でスポーツ気運が高まってきた実感がありました。この気運は2020年に東京オリンピック・パラリンピックの開催が決定したことで一層強まっていると感じています。時期によって2020年までをBefore（ビフォー）、2020年をOn（オン）、そして2021年以

降をAfter（アフター）と定義すると分かりやすいと思います。

Before（ビフォー）においてはスポーツ競技団体や全国の自治体との連携強化など、スポーツと全国ネットワークというセレスポの強みを生かしていきます。On（オン）の段階で発生するスポーツ関連の機会を最大化していくためにもBefore（ビフォー）が重要になります。さらに重要となるのは、After（アフター）に向けた取り組みです。

中期経営計画Ⅲで目指すのは、セレスポが2021年以降も成長し続けるための基盤をつくることであり、そのために前述の成長促進に向けた施策に取り組んでいきます。

「揺るぎなき継続企業」へ

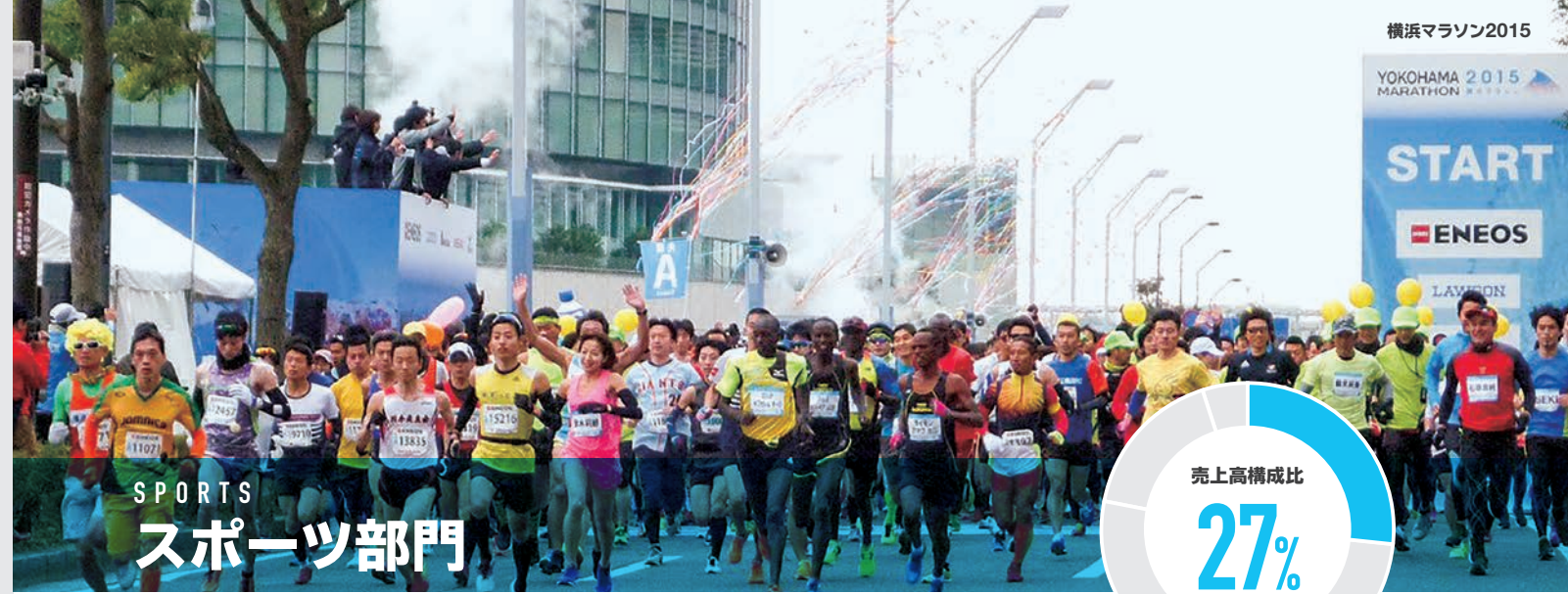
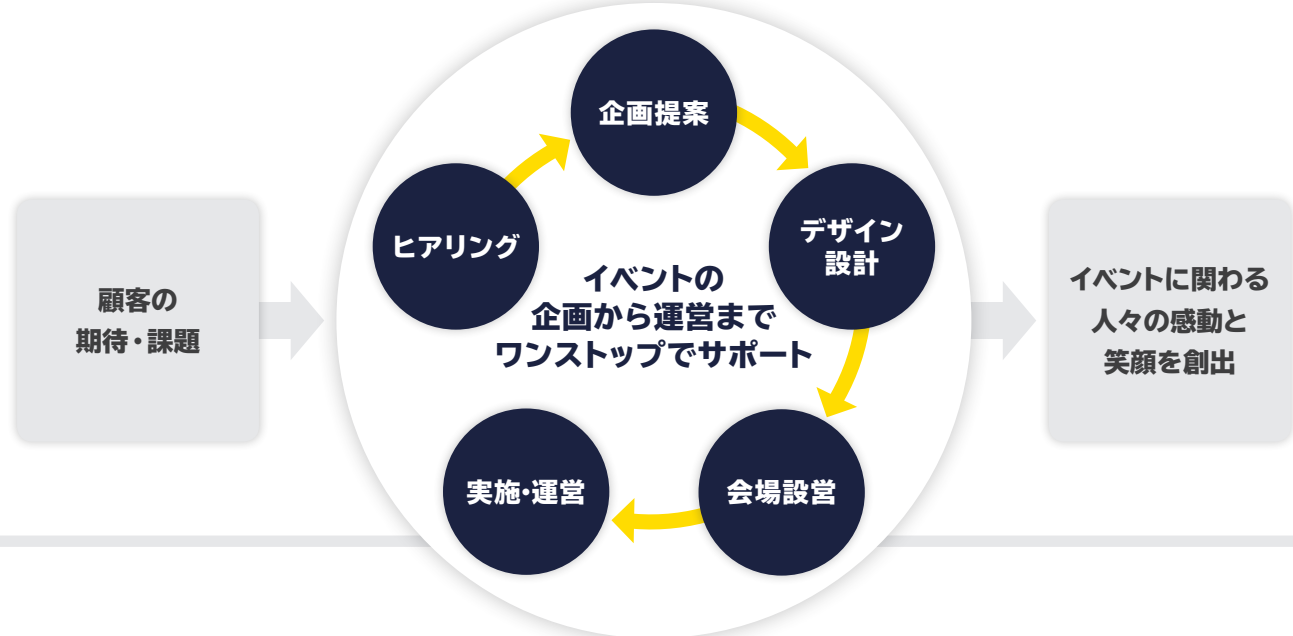
イベントは、祝う、願う、団結する、など人の心に働きかけるものです。また、いつの時代においても人や社会に求められる、不変の分野であるともいえます。すなわちこれは文化（カルチャー）に属する領域であり、そこでの経験やノウハウはそう簡単には陳腐化しないものですので、今後も安定した成長が見込めると考えています。

セレスポは社会の変化に左右されず成長していける「揺るぎなき継続企業」を目指し、今後も「セレスポの幸福」の経営理念のもと各施策に注力していきます。

セレスポは、豊富な実績・経験・ノウハウと全国に広がるネットワークを生かし、国や自治体が主催するような大規模なものから、人々の生活に密着したもので、多種多様なイベントを手がけています。

ビジネスモデル

セレスポは、顧客の期待や課題に応え、イベントに関わる人々の感動と笑顔を創ります。



■ 主なイベント

市民参加型スポーツイベント スポーツ競技会 国民体育大会 インターハイ など

■ 強み

- 国際大会などの実績とノウハウ
- 様々なスポーツ関連団体とのスポンサーシップ
- 国際標準規格ISO20121※の認証を取得したイベントへの関与
(2012世界トライアスロンシリーズ横浜大会)
- 陸上部を保有し、陸上競技界の発展に貢献

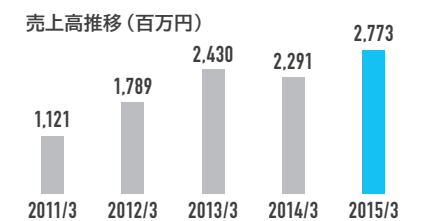
※イベントを通じてサステナビリティの実現につなげていくマネジメントシステム

■ 機会

- スポーツ機運の高まり
1: スポーツ関連事業の増加
2: スポーツ合宿誘致や指定管理者事業への参入
3: 国民のスポーツ熱の上昇
- 健康志向の高まり
日常の運動に対する社会的な意識の醸成

当期の概況

日本陸上競技選手権大会、世界トライアスロンシリーズ横浜大会の継続受注に加え、全国高等学校総合体育大会開会式、長崎がんばらんば国体・大会、紀の国わかやま国体リハーサル大会、また横浜マラソン2015の受注等があり、売上高は2,773百万円と前期比21.0%の増収となりました。



当期に行ったイベント



2014世界トライアスロンシリーズ横浜大会

トライアスロンは水泳・自転車・ランニングという異なる特性を持つ競技を1つのレースで行うダイナミックであり繊細な競技です。本大会は世界最高峰の大会として位置づけられています。セレスポは大会主催者である国際競技団体、国内競技団体との強い連携のもと、選手・来場者・地域の満足感を得られる大会運営をサポートしています。



第98回日本陸上競技選手権大会(福島)

陸上競技の日本一を決める国内最高峰の陸上競技大会で男女各18種目が行われます。セレスポは設営や当日の運営・進行だけでなくチケット販売などの事務局を行うなど幅広い範囲で大会づくりに関わり、陸上国内最高峰の場を演出しました。



長崎がんばらんば国体・がんばらんば大会

本大会は2013年よりブレ大会が始まっており、総合開会式・閉会式や競技会場の設計や会場設営など30以上の幅広い業務を行いました。本大会では「東日本大震災復興支援」への活用を目的としたがんばくん券にも賛同し寄付金を贈呈するなど、本大会を通じた地域貢献にも取り組みました。

事業部門



スポーツ部門



セールスプロモーション部門



フェスティバル部門



セレモニー部門



コンベンション部門

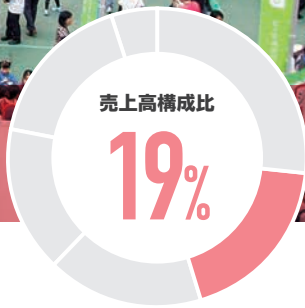


レクリエーション部門



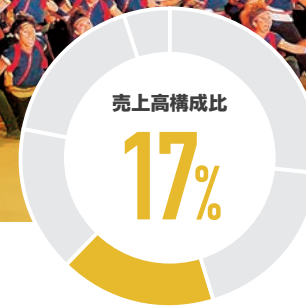
SALES PROMOTION

セールスプロモーション部門



FESTIVAL

フェスティバル部門



©につぼんと真ん中祭り

■ 主なイベント

展示会 見本市 即売会 発表会 その他セールスプロモーション案件 プロモーションツールの作成 など

■ 強 み

- 専門部署 (SP・PRイベントオフィス) を保有
- 大型施設の指定会社としての実績とノウハウ
- 大型展示会の実績
(各種フードフェア、住宅総合展示会など)
- 全国拠点網を活用したキャラバンイベントへの対応力 (均一なサービスクオリティ)

■ 機 会

- 訪日外国人向けイベントの増加
- 景気回復に伴うプロモーション活動の増加
- ネットとリアルとの融合を目指す動き
- イベントを要とするコミュニケーション機会の増加

■ 主なイベント

市民祭 産業祭 花火大会 大学祭 文化イベント 防災訓練 イルミネーション など

■ 強 み

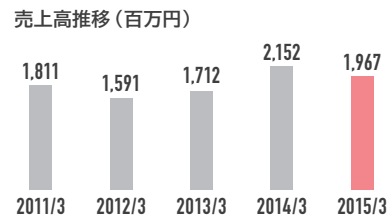
- 地域振興イベントの実績・経験・ノウハウ
- 全国の大型フェスティバルの実績
- 屋外イベント、オープンタイプイベントでの安全な運営

■ 機 会

- 地方創生によるフェスティバルの増加
- コミュニティの多様化によるイベントに対するニーズの高まり
- 健康増進法 (厚生労働省) 普及に向けた健康イベントの増加

当期の概況

展示会ならびにセールスプロモーション案件の受注減少により、売上高は1,967百万円と前期比8.6%の減収となりました。



当期に行ったイベント



ベルギービールウィークエンド2014

年々規模を拡大しているこのイベントは、2014年には初開催の仙台を含め全6都市で開催されました。セレスポは全国の拠点が連携し、情報・資材・ノウハウをつなぎ、このキャラバンイベントに取り組んできました。今年もお客さまと共に半年間かけて全国にベルギービールの味と楽しさを広めてきました。



めんたいパークオリジナルストラップ制作

きっかけは竣工式。現在では明太子の老舗かねふくが運営する明太子専門テーマパーク『めんたいパーク』のキャラクター「タラビヨ」「タラコン博士」のノベルティや着ぐるみの製作を担当するなど、幅広い範囲でお客さまのイベントをサポートしています。

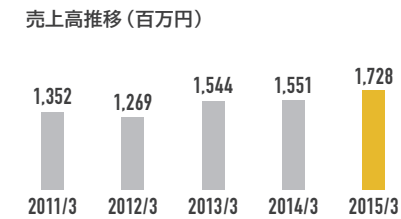


住まいの夢博2014

「2020年を先取りする住まい」をテーマにさいたまスーパーアリーナで開催された大規模なイベント。セレスポは昨年に続き美術制作や会場設営を中心に携わりました。今回はプロジェクションマッピングによるインテリア提案を披露するなど、住まいの未来とともにイベントの未来も感じる内容となりました。

当期の概況

大規模な秋の市民祭等の受注による地域振興イベント等の受注増加や消防救助技術大会の受注により、売上高は1,728百万円と前期比11.5%の増収となりました。



当期に行ったイベント



川口宿 鳩ヶ谷宿 日光御成道まつり

川口市の歴史的財産である「日光御成道」を舞台にした時代行列の企画・演出を行い「地域一体感の醸成」と「郷土愛の育成」を後押ししました。街道には23万人が集まる中、安全に配慮した運営や警備を行いました。



第17回ひの新選組まつり

コンセプトである「新選組に会えるまち日野」を体現する「新選組隊士パレード」では、400人もの隊士が、当時の衣装に身を包み、市内各所を練り歩きます。セレスポは開催当初よりイベントのスムーズな運営につながる会場づくりを手がけています。

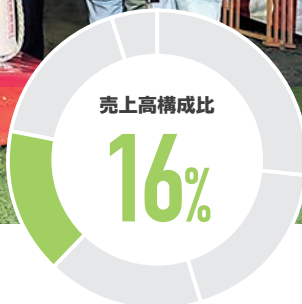


チャレンジド・フェスティバル2014

「障がいの存在を知ってもらい、優しく助け合える社会を実現する」というテーマに共感し、セレスポはイベント制作だけでなく、協賛企業としてもサポートしました。障害がある人もない人も楽しめるこのイベントは各方面から「様々な障がい者が垣根を超えることだけでも新しい活動となった」との評価をいただきました。



CEREMONY
セレモニー部門



■ 主なイベント

地鎮祭 竣工式 上棟式 定礎式 貫通式 など

■ 強 み

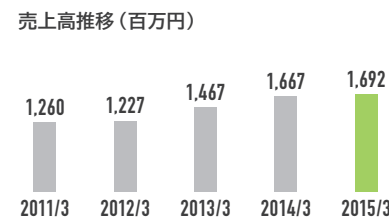
- 創業当初から培ってきている知識・経験・実績
- 大手建設会社さまや神社本庁さまとの長期にわたる良好な関係
- 建設式典専用資材の保有 (コストダウン)

■ 機 会

- 地方開発の推進
- 2020年東京オリンピック・パラリンピックに向けたインフラ整備
- 信頼と実績による新規紹介案件の増加
- 新たな案件紹介の増加

当期の概況

地鎮祭・竣工式等の増加により、売上高は1,692 百万円と前期比1.5%の増収となりました。



当期に行ったイベント



豊島区新庁舎落成式

全国初のマンション一体型の新庁舎として注目を集めた豊島区新庁舎。長年培ったセレモニーとフェスティバルのノウハウを組み合わせ、落成式と見学会に共に企画段階から携わりました。15,000人の区民・関係者と豊島区の新たな門出を祝えたことは豊島区に本社を置く企業として大変光栄です。



鉄道高架化記念式典

事業計画から40年余に及ぶ鉄道の全線連続立体交差化が完了。高架化を記念して関係者によるくす玉開披を行いました。交通渋滞の解消と安全性の向上、分断されていた市街地の一体化など、地域住民の念願がかなった瞬間です。150人を超える参加者を収容する大型テントの設置はもちろん、運営・進行業務まで携わり、「ハレの場」のお手伝いをしました。

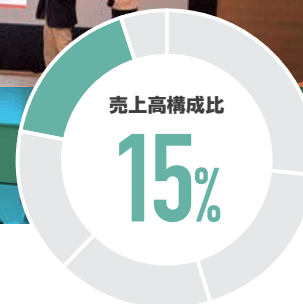


神事研修

東京都神社庁さまと共同で建設式典に関する神事研修を建設会社さま向けに行っています。研修では、神事の基礎知識の解説、模擬祭典の実施など「実務に役立つ実践的な研修」を行います。三者が神事の本義を共有した上で行う建設式典は参加者より高い評価をいただくとともに、日本の伝統文化の継承につながっています。



CONVENTION
コンベンション部門



■ 主なイベント

サミット・学会・総会 記念式典 レセプション シンポジウム 会議イベント 株主総会 選挙関連 など

■ 強 み

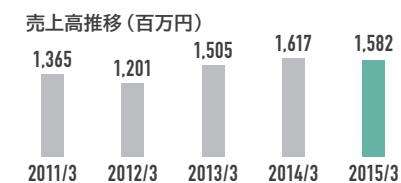
- 行幸啓行事など厳重な警備が必要な大型案件での実績とノウハウ
- 関連イベントとの強い連携体制

■ 機 会

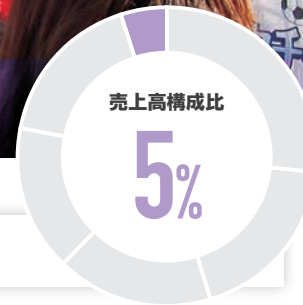
- 2020年に向けてMICE関連の案件が増加
- 富裕層向けパーティの普及
- 地方創生に関わる会議・イベントの増加
- 周年行事の増加傾向

当期の概況

国際会議や周年事業、各地方選挙の受注が減少し、売上高は1,582 百万円と前期比2.2%の減収となりました。



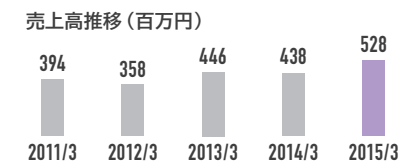
RECREATION
レクリエーション部門

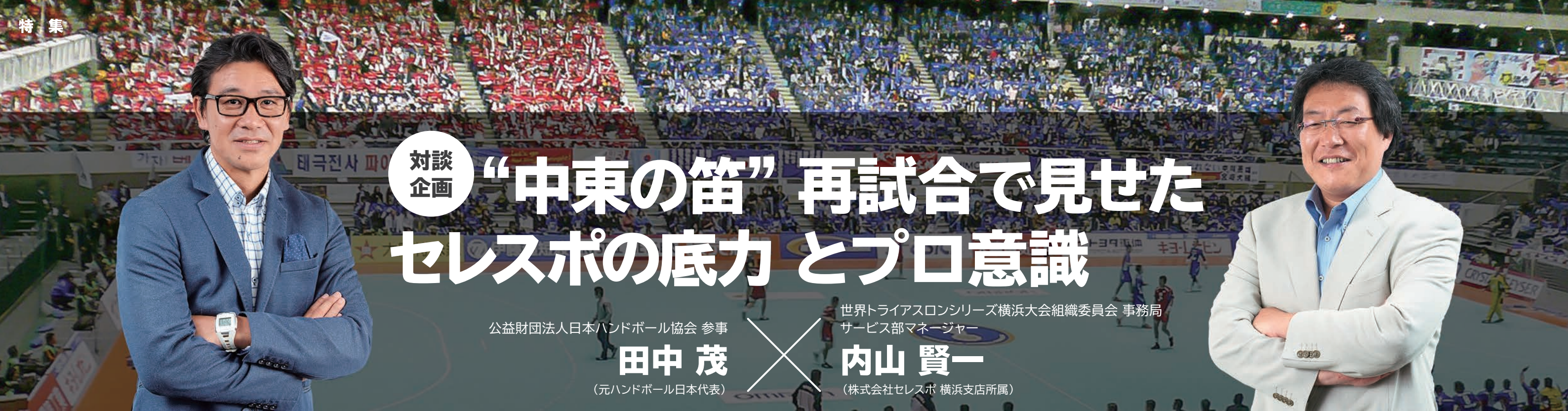


■ 主なイベント 運動会 納涼祭 社内イベント など

当期の概況

運動会・納涼祭等の企業内行事の受注の増加により、売上高は528 百万円と前期比20.5%の増収となりました。





対談企画 “中東の笛” 再試合で見せたセレスポの底力とプロ意識

公益財団法人日本ハンドボール協会 参事

田中 茂

(元ハンドボール日本代表)

世界トライアスロンシリーズ横浜大会組織委員会 事務局
サービス部マネージャー

内山 賢一

(株式会社セレスポ 横浜支店所属)

2008年1月に東京・代々木第一体育館で開かれた北京オリンピックハンドボールアジア予選の再試合。“中東の笛”と呼ばれる不可解な判定に抗議したことで実現した、前代未聞の再試合である。それを陰で支えたのがセレスポだった。準備期間はわずか1週間。この苛酷な試練を、セレスポはどのように乗り越えたのか。当時を知るお二人に話を聞いた。



北京オリンピックハンドボールアジア予選再試合について

2008年北京オリンピックのハンドボールアジア予選が、2007年8月にカザフスタンで女子が、9月に日本（愛知県）で男子が行われた。しかし、アジアハンドボール連盟（AHF）のアンフェアな運営により、12月17、18日に開催された国際ハンドボール連盟（IHF）理事会は、男女アジア予選の再試合を決定。2008年1月29日に女子、30日に男子の試合が国立代々木競技場第一体育館で行われた。IHFの決定を不服とする中東勢は再試合をボイコット。結局、男子も女子も韓国との一騎打ちとなり、男女とも敗退。北京オリンピック出場は果たせなかった。

常識外ともいえるオファーにプロ集団が燃えた

内山：北京オリンピックハンドボールアジア予選の再試合は、セレスポがスポーツイベントに本格参入する契機となった仕事でしたが、準備期間はたった1週間。本当に大変でした。



田中：オリンピックの大会規定で予選を行う時期は決められていたし、国内リーグの試合も残っていました。予選を行える日は1月30日しかなかったんです。時間はないし、ハンドボール協会だけでできる仕事でもない。いろいろな

選択肢はあったんだけど、知人から紹介してもらったセレスポさんに、大会運営業務のサポートを任せることにしたんです。

内山：当時の資料を見ると、1月18日に社内ミーティング、21日に現地ロケハン、23日にオールスタッフ打ち合わせ、24日に正式発表して25日には運営マニュアルが完成しています。そして28日には大会開始ですからね。

田中：改めて聞くと、無茶苦茶なスケジュールだったということがよく分かる。なにしろ内山さんとは約1週間、ホテルの同じ部屋で、寝起きも共にしたもね。

内山：それが、いちばん早く情報を得られる方法だと思いましたから。田中さんから得た情報を、私が速やかに現場へ伝える。そのときにありがたいと思ったのは、田中さんが「判断は現場の人に任せるから、いちいち僕におうかがいをたてる必要はない。でも報告だけはちゃんとしてくれ。自分も各方面に報告をしなければいけないから」と言ってくれたことでした。それだけでも、現場の動きはかなりスムーズになりました。

田中：現場の人たちは、それぞれがその分野のプロだから、プロの判断に任せるのがいちばんだと思った。それに、私はとにかくきちんと試合ができればよかったから。

内山：セレスポはそれまで大規模なスポーツイベントを本格的に手がけたことはなかったんです。でも、イベントに関しては、企画から制作、会場設営、進行、運営をワンストップで行える実績やノウハウは備えていたので、それぞれの現場にプロがいる。そのスタッフたちが、同じ目的に向かって走れたことがよかったんだと思います。私自身、

やったことのない仕事ほど、面白がって突っ走ってしまう性格。周りを見ても、切羽詰まった状況ほど強さを発揮するスタッフが多いような気がします。

田中：それと、彼らがハンドボールの素人だったということもよかったんだと思います。競技を知っていたら、既成概念や常識にとらわれて、あれほど無我夢中で走れなかったかもしれません。ほんとうに心強い相棒でしたよ。

難題を無事にクリアできたことがスタッフ全員の自信につながった

内山：あの再試合を経験したおかげで、何を言われてもビクともしなくなりました。それくらいあの再試合は大変だったし、私たちに「やればできる」という自信を植え付けてくれました。

田中：結局、人が人を動かすのだと私は思っています。運営側のスタッフが頑張ってくれて盛り上げてくれたら、何よりも喜ぶのは選手なんです。そして、一生懸命プレーする。そうすれば、お客さまも喜んでくれる。それが大切だと思います。あの再試合の仕事を依頼したのは、ほんとう

にたまたまだった。他の会社になることだって、十分にあり得ました。でも、私は内山さんに会った瞬間に、気が合うと思ったし、信頼できると感じました。時間とお金をかければ誰でもできる。でもあれだけの制約の中で最高の仕事をしてくれたセレスポさんにはプロの底力を感じました。今でも、セレスポさんにお任せしてよかったと思っています。

内山：ありがとうございます。その言葉に甘んじず、私自身は面白いことを見つけながら、皆さまに喜んでいただけるイベントをつくっていきたいと思っています。



田中：2019年にはラグビーのW杯や女子ハンドボールの世界選手権大会があるし、2020年には東京オリンピックも控えています。あの修羅場をともに乗り越えた私としては、これまで培ってきたノウハウや実績を発揮して、世界規模のスポーツイベントを盛り上げていただきたいですね。

内山：そうなれるように、私たちが精進していきます。今日はどうもありがとうございました。

安全なイベント運営のための教育



当社は、総合イベント企業として、イベントで最も重要である「安全」を確保するため、社員や協力会社の方々に向けて「安全・品質向上推進大会」を実施するなど、安全なイベント運営のための教育を行っています。

安全・品質向上推進大会の開催

当社はイベント制作において「安全」を最も重要な守るべき要素として考えており、安全を確保することでイベントに関わる全ての方が安心して活動することができると思っています。それは、安全を確保することは単に安全性を高めるだけでなく、イベント会場の機能性、制作における経済性も向上させることができるからです。当社は年間1万3千件にも及ぶイベントを制作しているため、社員のみならず協力会社の方ともこの考えを共有し、共同作業を行っていくことでイベント現場での事故・怪我の撲滅に努めています。

この取り組みを拡大・向上させていくために協力会社の方と共に毎年「安全・品質向上推進大会」を開催しています。2014年度は東京と大阪で2回開催し、併せて100人が参加しました。

「安全・品質向上推進大会」ではセレスポ



協力会社との意見交換会の風景

が目指しているイベント制作の形、安全確保への姿勢と取り組みを説明し安全重点項目を確認していきます。また、それぞれ専門的な業務を担っている協力会社の方の取り組みなども紹介していただきました。こうしたことを繰り返し行っていくことで、安全管理に対する考え方や作業方法などの共有が進み、更なる安全・品質の向上につながっていきます。

今後も定期的な開催を続けていく中で、営業・制作拠点のあるエリアを中心に開催を広げることで、安全の輪を全国に広め、「セレスポの幸福」の実現を支えています。

女性の活躍推進

Joshi JP Power プロジェクトの推進

当社では、女性社員が長く輝きながらセレスポで働くことができるよう、「JP (=女子パワー) プロジェクト」という活動を立ち上げました。



「JPプロジェクト」では、多くの女性社員が課題としている、結婚・出産・子育てなどのライフイベントと働く中での自己実現の両立を軸に施策を考え、3つの推進計画に沿ってサポートしていきます。

JPプロジェクト 3つの推進計画

1 ライフステージサポート

女性が安心して長く働き続けることができるよう、育児休暇などの各種制度の紹介や活用促進をはじめ、事例を用いた座談会を行うなど社内広報や課題解決の提案を行います。

2 キャリアサイクル推進

働くことも含めた人生プランを若いうちからイメージできるよう、夢や目標の達成に向けた成長のPDCAサイクル確立をサポートします。

3 ワークコミュニケーション

当社の強みは全国に広がるネットワークですので、そこに女性という共通項によるネットワークを構築することにより、さまざまな気づきを通して、業務のクオリティ向上やメンタル面の支えなどにつながっていきます。

この3つの計画を推進するため、2015年4月に社内イントラネットを立ち上げました。記事や掲示板などで全国の拠点を結ぶコミュニケーションの場として、業務に必要な情報やさまざまなサイトへのリンクなども掲載していきます。当面はコアメンバーが中心となって、取材と記事作成を行います。ゆくゆくは各拠点の女性社員が自ら情報発信したいと思えるものに育てていきます。



ミーティング風景

この「JPプロジェクト」は女性の働き方を考える活動ですが、将来的には、セレスポ全体のダイバーシティの推進につなげていきたいと考えています。家族の介護、障がい者や外国人の雇用、シニア制度など働く環境の多様性は今後どんどん求められます。そのような中、さまざまな多様性に柔軟に対応しながらパフォーマンスの維持・向上を図っていくため、関連部門とも連携し、魅力ある人材創造に寄与していきます。

サステナブルなイベントの実現に向けて

当社はイベントの持つ力で明るい社会づくりに貢献していくことを目指しています。この考えを実現していくために、1999年4月にバリアフリーライフ研究所(現:ユニバーサルイベント研究所)を設立し、誰もが楽しめるイベントづくりを推進してきました。2013年7月にはサステナブルイベント研究所を設立し、イベントを通じた社会の課題解決に取り組んでまいりました。

Positive Impact日本事務局開設

2012年ロンドンオリンピック・パラリンピック以降、イベントにおけるサステナビリティの実現、レガシーの創造に対する注目が高まってきました。当社ではサステナブルイベント研究所が中心となり、この分野の調査・研究を行うとともに、既に請け負っている案件のマネジメントをサポートしてきました。

この取り組みをさらに進めるために、2014年10月にイベント分野のサステナビリティ教育を牽引する非営利団体「Positive Impact」(本部:イギリス、マンチェスター)の日本事務局を開設しました。これにより、実績ある教育資料の活用も可能になるとともに、イギリスをはじめとするヨーロッパの取り組み・事象についても即座に入

手することが可能になりました。セミナー・ワークショップを通じて展開し、日本におけるサステナビリティの理解を深めていきます。



Positive Impact 公式サイト



Positive Impact Facebookページ

スポーツ振興への取り組み

セレスポ陸上部

当社は2013年に、国が推進するスポーツ振興の取り組みに賛同し、陸上競技において今後の大きな可能性を秘めた競技選手の育成・強化と夢の実現を応援することを目的として、陸上部を設立しました。競技選手の強化・育成への積極的な支援を通し、日本の陸上競技界の更なる発展、ならびに地域社会のさまざまな分野における貢献活動に取り組んでおります。

選手紹介

■ 藤沢 沙也加 Sayaka Fujisawa



入社年 2013年
出身地 岩手県
出身校 岩手大学
所属部署 人事総務部

自己記録 **200m: 23秒81 (2015/6/27)** **400m: 53秒14 (2015/6/27)**

主な出場大会記録

開催日	大会名	場所	種目	順位	タイム
2015年6月26日~28日	第99回日本陸上競技選手権大会	新潟	200m	2位	23秒81*
			400m	2位	53秒14*
2015年5月10日	セイコーゴールデングラプリ陸上2015川崎	神奈川	400m	5位	53秒66

*自己新記録

■ 真下 まなみ Manami Mashita



入社年 2014年
出身地 埼玉県
出身校 筑波大学
所属部署 経理部

自己記録 **800m: 2分03秒52 (2012/10/21)**

主な出場大会記録

開催日	大会名	場所	種目	順位	タイム
2014年10月11日~12日	第62回全日本実業団対抗陸上競技選手権大会	山口	800m	優勝	2分07秒07
2014年9月21日	秩父宮賜杯第54回実業団・学生対抗陸上競技大会	神奈川	800m	2位	2分07秒10
2014年6月6日~8日	第98回日本陸上競技選手権大会	福島	800m	2位	2分05秒86

■ 中村 真悠子 Mayuko Nakamura



入社年 2015年
出身地 静岡県
出身校 筑波大学大学院
所属部署 コーポレートデザイン室

自己記録 **1500m: 4分21秒35 (2013/9/6)** **3000m障害: 9分53秒87 (2014/6/8)** ※日本学生記録

主な出場大会記録

開催日	大会名	場所	種目	順位	タイム
2015年5月8日	Oregon Twilight	海外	1500m	12位	4分26秒36
2015年5月14日	Hoka One One Distance Classic	海外	3000mSC	17位	10分25秒26
2015年4月26日	第63回兵庫リレーカーニバル	兵庫	3000mSC	6位	10分44秒66

スポンサーシップ

当社は、イベントを通じて、笑顔ある明るい社会づくりに貢献するために、下記団体とのスポンサーシップを結び、さまざまな活動に取り組んでまいります。



取り組み紹介: ガイドサポート

主なサービス内容

- 授乳室
- ベビーカー預かり
- おむつ交換所
- スタッフによるサポート など

誰にでも、やさしい空間であること

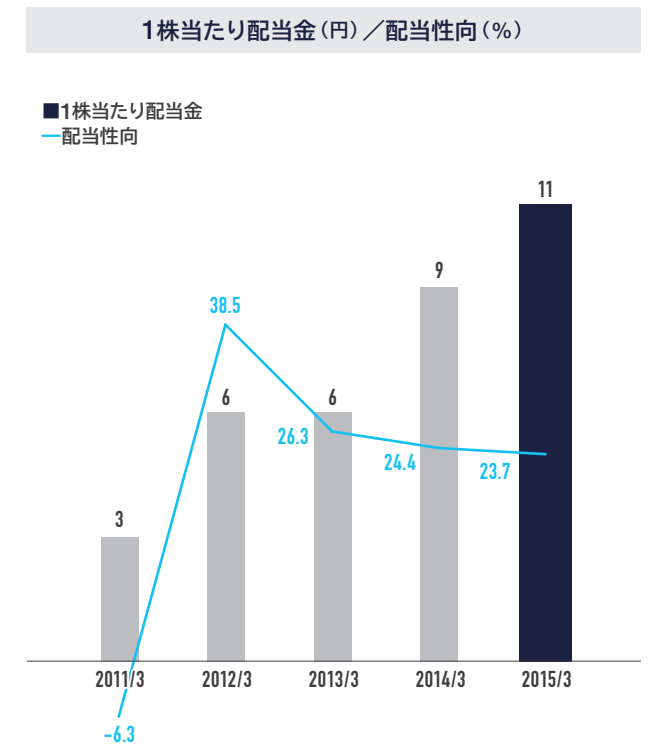
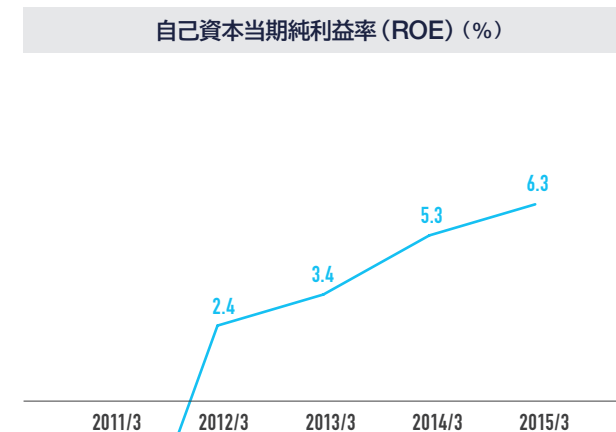
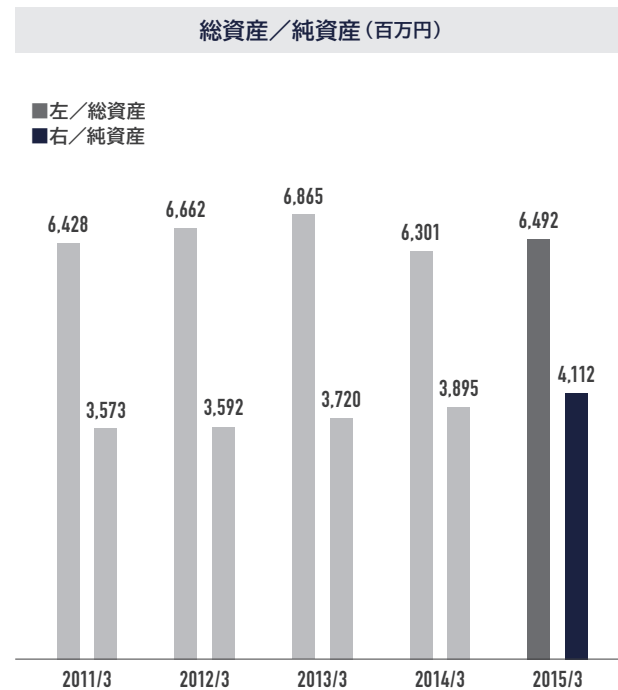
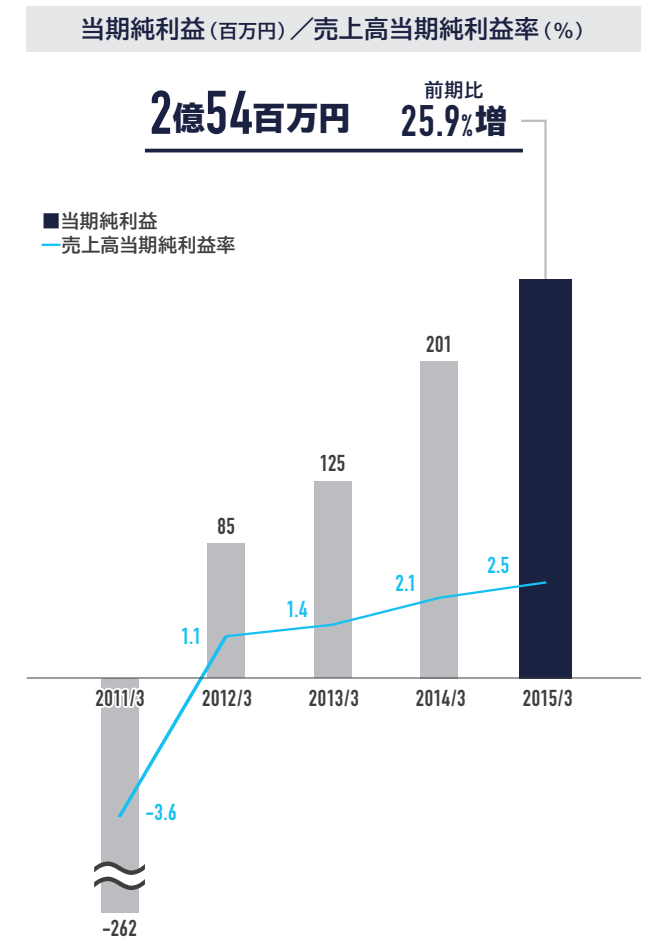
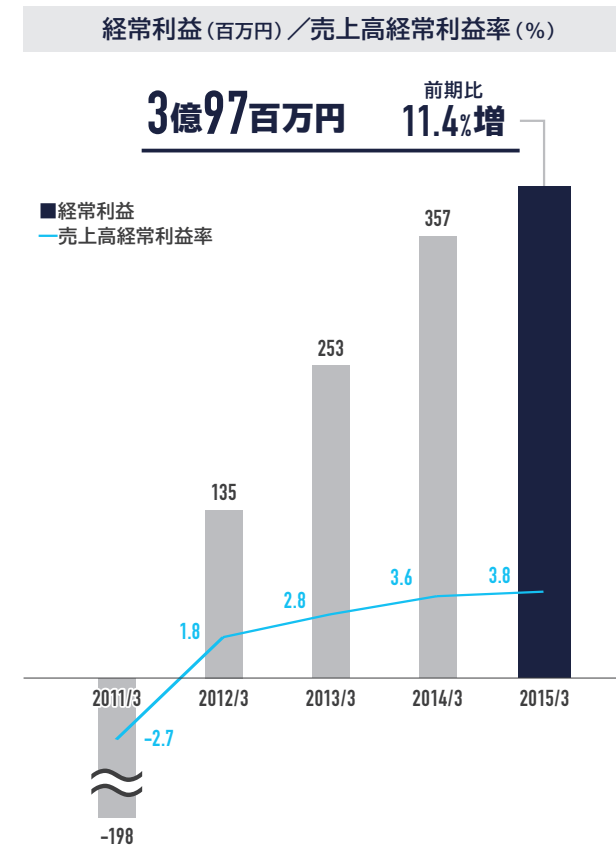
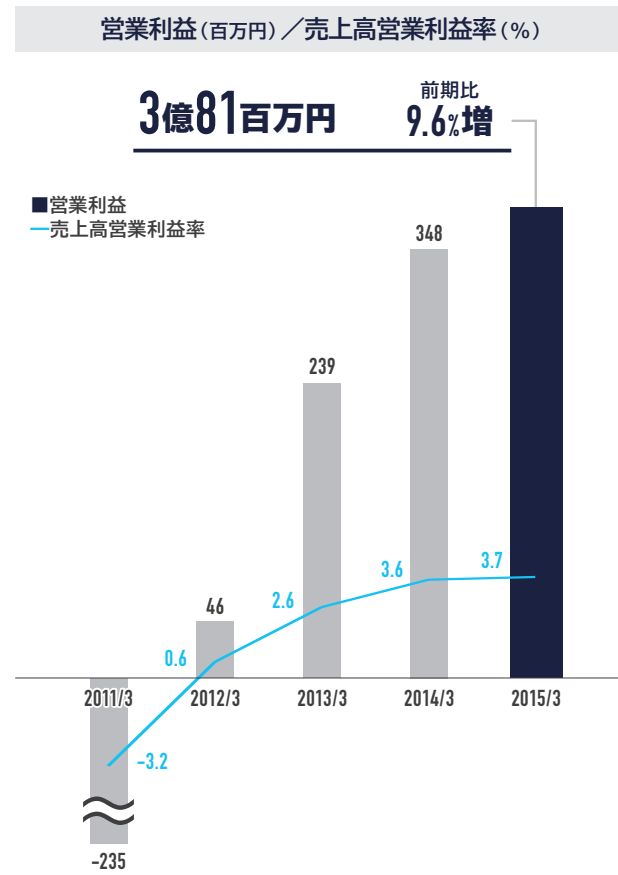
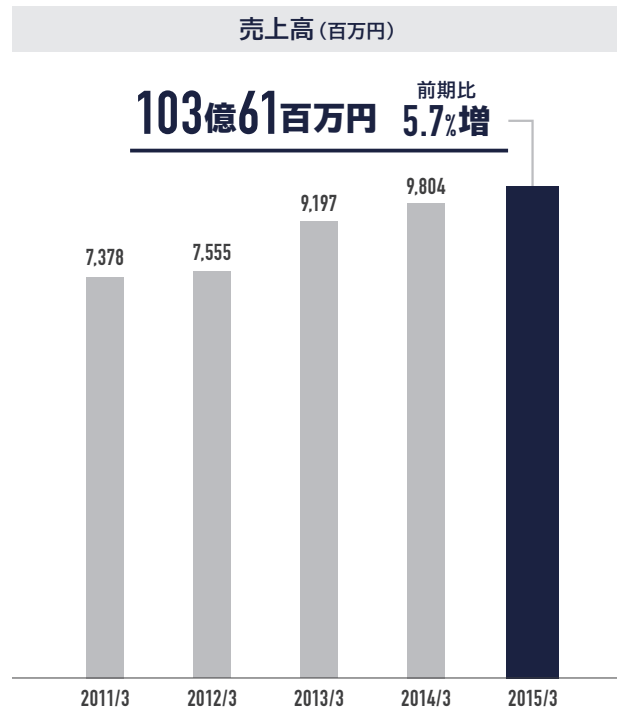
バリアフリーの概念に基づくイベント空間づくりを今まで以上に考え、実践して行くことを目的として設立された独自の調査・研究機関が「ユニバーサルイベント研究所」です。長年培ってきたイベント制作のノウハウに加え、各分野のエキスパートとの連携を確保し、常に最先端のサービスの提供を目指しています。全ての人が平等に楽しい人生を送れるように、私たちは、ユニバーサルなイベント空間づくりに、より一層の情熱を傾けてまいります。

セレスポ・ガイドサポート

もし、ほんの「些細なこと」でイベントへの参加・来場をあきらめている方がいたら残念なことです。しかし、その方にとっては「些細なことではなく大きなこと」かもしれません。そんな不安を少しでも解消することで安心して参加・来場していただき、安全・快適に過ごしていただくためにセレスポ・ガイドサポートが誕生しました。



ANA CUP 第39回日本ハンドボールリーグプレーオフにて



2015年3月期決算のポイント

1 売上高100億円突破
創業以来、初めて売上高100億円を突破し、中期経営計画IIの目標を達成することができました。

2 4期連続の増収増益
売上高・営業利益ともに成長を続ける中、利益率も改善しており、利益体質への改善を進めることができました。

3 年間配当11円
業績および財務状況等を検討した結果、普通配当9円に特別配当2円を加え、年間配当を11円としました。

会社概要		2015年3月31日現在
商号	株式会社セレスポ	英文社名: CERESPO CO.,LTD.
本社	〒170-0004 東京都豊島区北大塚1-21-5 TEL:03(5974)1111/FAX:03(5394)7651	
設立年月日	1977年7月21日	
資本金	13億7,067万円	
事業内容	1 イベント、プロモーション、スポーツ大会、式典、レクリエーションの企画、制作、会場設営、運営および進行 2 上記に関わる物品・什器備品の企画、開発、製造、販売およびレンタル 3 土木ならびに建築の設計監理および施工 4 警備業 5 特定人材派遣業 6 上記に附帯する一切の業務	
登録・許可	建設業許可: 東京都知事 許可(特)第140322号 一級建築士事務所: 東京都知事登録 第42544号 警備業認定: 東京都公安委員会 第30003046号 屋外広告業登録: 東京都屋外広告業登録 都広(1)第1137号 プライバシーマーク: 第17000187号	
従業員数	366名	

役員一覧		2015年7月1日現在
代表取締役社長	稲葉 利彦	
専務取締役	田代 剛	
専務取締役	岡本 敦哉	
常務取締役	鎌田 義次	
取締役	宮田 一哉	
取締役	堀貫 貴司	
取締役	生田 茂	
取締役(社外)	野末 正博	
常勤監査役(社外)	星野 俊司	
監査役(社外)	服部 訓子	
監査役	水越 潤	
執行役員	松田 英彦	
執行役員	本橋 泰治	
名誉会長	三木 征一郎	



株式情報			2015年3月31日現在
株式の状況			
発行可能株式総数			22,000,000株
発行済株式総数			5,703,500株
株主数			814名
大株主			
株主名	持株数(千株)	持株比率(%)	
株式会社スマイル	1,100	20.07	
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	674	12.30	
セレスポ従業員持株会	547	9.98	
三木 征一郎	155	2.84	
日本証券金融株式会社	109	1.99	
稲葉 利彦	100	1.82	
衣笠 純	94	1.73	
北原 和男	94	1.73	
ゴールドマン・サックス・インターナショナル	94	1.71	
株式会社東和銀行	72	1.31	

(注) 1. 当社は、自己株式を222,007株保有しておりますが、上記株主からは除外しております。 2. 持株比率は、自己株式を控除して算出しております。

